

4 学年題材指導計画

「なめらか」「はずむ」をえんそうに生かそう

(7 時間扱い)

1. 題材のねらい

旋律の階名視唱や視奏に親しんだり，レガートやスタッカートなどに気付いたりして，表現のしかたを工夫できるようにする。

旋律の特徴を感じ取って，想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。

2. 教材について

小学校学習指導要領 < 第 3・4 学年の内容との関連 >

(1) 陽気な船長 作曲 市川都志春

A(1)ア

A(1)イ

A(2)イ

A(3)イ

跳躍音程による歯切れのよい部分(ア)と順次進行による滑らかな感じの旋律(イ)が対照的に組み合わせられている楽曲。二つの旋律の特徴を楽器で表現を工夫するのに適した教材である。ここではリコーダーを使い，スタッカートの曲想を生かした息のスピードと短いタンギング，二声になる部分ではレガート奏法を生かしたフレーズのまとまりによる息つきや軽いタンギングなどに気を付けて表現を工夫することもできる。

(2) キャプテンキッド 作曲 マーク・ゴードン・パーキ

A(1)ア

A(1)イ

A(2)イ

編曲 原 由多加

A(3)イ

A(4)ア

B(1)イ

この曲は A (aa) B (bb ') A (aa) の三部形式による構成の楽曲。A はスタッカートの曲想を持つ八長調であるのに対し，B ではレガートな曲想で一時的にイ短調になっており，曲想の違いを十分に感じ取ることができる。また，主旋律，副次的な旋律，和音によるリズム，低音が揃っており，合奏による音の重なりによさも感じ取ることのできる曲である。リズム伴奏では，曲想の感じを生かした創作活動もしながら，表情豊かな演奏を工夫することもできる。

(3) あしたはきっと 作曲 北里廉太郎

A(1)ア

A(3)イ

2 分音符を中心に，順次進行と跳躍音程が巧みに使われた美しい旋律である。全体を通して，レガート奏法で表現したい雰囲気を感じさせる旋律である。旋律のリズムは細かい動きがないので，音を十分に保ちながら，滑らかな曲想を生かして表現するようにしたい。

(4) あいのあいさつ 作曲 エルガー

B(1)イ

弦楽器が中心に演奏されるこの楽曲は，穏やかな美しい旋律がゆったりと流れる感じの曲である。激しい高まりはどこにもなく，滑らかな感じのふしであることを十分に感じ取ることができる。図形譜に書き表したり，演奏方法などを思い浮かべたりしながら，「ピチカート ポルカ」との違いをしっかりと捉えるようにしたい。

(5) ピチカート ポルカ 作曲 ヨハン シュトラウス(子)

B(1)イ

ヨゼフ シュトラウス

弦楽器だけで演奏されているこの楽曲は，ピチカート奏法で演奏されるため，「あいのあいさつ」とは全く違った感じがすることがはっきりと捉えられる楽曲である。ピチカート奏法がどのような演奏方法であるかを説明した上で，歯切れのよい感じであることを図形譜に書き表したり，「あいのあいさつ」とはどう違うか感想をもたせたりしながら，曲想の違いを感じ取るようにしたい。

3. 題材の評価規準

Aと判断する子どもの姿

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価規準	旋律の特徴に関心をもち、意欲的にリコーダーを中心とした器楽表現に取り組もうとしている。	旋律の特徴を感じ取りながら、聴いたり表現の仕方を工夫したりしている。	八長調の読譜に親しむとともに、旋律の特徴を生かして、美しい音の出し方に気を付けて楽器を演奏している。	主な旋律の特徴を感じ取り、表現のよさや美しさを感じ取って聴く。
学習活動における 具体の評価規準	なめらか・はずむなどの旋律の特徴に関心をもち、進んで聴いたり、演奏したりしている。 リコーダーや選択した楽器の演奏に、意欲的に取り組む 自分の思いやイメージをもとに、簡単なリズムをつくったりする活動に進んで取り組んでいる。 他の意見の尊重 リーダーシップ 音楽的な意見 友達のアイデアの具現化	なめらかな・はずむの旋律の感じの違いや曲想の変化に気付きながら、楽器の演奏の仕方を工夫している。 美しい音色の追求 体の動きや顔の表情を効果的に使った、美しい表現 旋律の特徴をとらえた的確な言葉でのカードへの記入 旋律の感じの違いを生かして、簡単なリズム伴奏をつくったり音を選んだりしている。 旋律の特徴を生かす楽器の選択 旋律の変化、速度や強弱に気を配って音楽をまとめている	八長調の読譜に親しみ音楽の流れにのって自分のパートを視奏している 適切な場の設定 正しい構え方 美しい表現の追及 旋律の特徴を生かし、レガートやスタッカート の奏法に気を付けて旋律楽器を演奏することができる。 美しい音色や適切な音量を保ちながら旋律の特徴を表現している 安定したレガート奏 重奏・合奏や小アンサンブルの中で、楽器のもつ固有の音色やその美しさを生かして演奏している。 適切な楽器の選択 乱れない音色 きれいなタンギング 友達と協力しながら、バランスのとれた合奏になるよう、工夫して演奏している。 全体のバランスを考えて調整する意見 他のメンバーの演奏にまで気を配った演奏	はずんだ感じとなめらかな感じといった旋律の特徴の違いやその変化を感じ取って聴く。 自分なりの言葉で旋律の比較対照 旋律の特徴についての気付き 友達がつくりあげた音楽表現から、楽器の音色や旋律の特徴を生かすための互いの工夫のよさや美しさを感じ取って聴く。 題材のねらいに即した発言や記述 数多くのよさや美しさの発見

4. 指導と評価の計画

: 取り扱い項目

: 取り扱い重点項目

	学習活動	具体的 評価規準	指導要領 との 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>「あいのあいさつ」「ピチカート ポルカ」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲全体の感じを想像豊かに聴く。 ・旋律の流れを、図形譜を書いたり自由に身体表現したりしながら感じ取る。 ・旋律の違いに気を付けてもう一度聴く。 ・演奏奏法の特徴を見つけ合う。 ・なめらかな感じとはずんだ感じの旋律を、比較しながら聴く。 ・気付いたことや感じ取ったことを学習カードにまとめる。 	エ -	B (1) イ					行動観察 身体表現 顔の表情 学習カード
2	<p>「あしたはきっと」の旋律の特徴をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の感じに気を付けながら範奏を聴き、気付いたことを発表し合う。 ・旋律を読譜し、階名唱する。 ・旋律の特徴を生かした奏法を工夫し合う。 ・息の使い方や、タンギングを工夫しながら演奏する。 ・音色に気を付けながら、リコーダーで練習する。 ・隣の人と交互奏をしながら、互いの演奏についてよさを見つけたり、アドバイスしたりする。 	ア -	A (1) ア					行動観察 読譜チェック 発表 演奏聴取
3	<p>「陽気な船長」の範奏を聴き、気付いたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の感じの変化に気を付けて、曲全体の感じをつかむ。 ・主旋律を階名唱する。 ・スタッカートについて理解する。 ・音色に気を付けながら、主旋律をリコーダーで練習する。 ・前半・後半の旋律の特徴の違いを生かして、演奏を工夫する。 ・歯切れのよい感じ、なめらかな感じの違いを再確認し、レガート奏法、スタッカート奏法の仕方を工夫し合う。 ・二重奏の響きを楽しむ。 ・ のパート読譜し、練習する。 ・ペアで、低い音の出し方や二つの音の重なり、息の使い方やタンギングの仕方に気を付けて、互いに聴き合いながら練習する。 ・ と を合わせ、全員で音色に気を付けながら二重奏の響きを楽しむ。 	ア -	A (1) ア					演奏聴取 発言 (ペア) 行動観察 読譜チェック
		イ -	A (2) イ					
		ウ -	A (1) イ					
		ウ -	A (3) イ					

4 ・ 5	<p>「キャプテン キッド」の範奏を聴き、曲全体の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使われている楽器の音色と旋律の特徴のかかわりに気を付けながら聴き、気付いたことを話し合う。 ・演奏順序を確認しながら、旋律の特徴や変化について感じたことを学習カードに記入する。 鍵盤ハーモニカで、主旋律を演奏する。 ・主旋律を読譜し、階名唱し、視奏する。 ・シャープやナチュラルについて理解する。 ・なめらか・はずむなどの感じを生かして、主旋律を鍵盤ハーモニカで演奏する。 それぞれのパートを演奏する。 ・グループ分けをして楽器の担当を決める。 ・同じパートを担当する子ども同士で集まって読譜し、互いに教え合いながら、正確に演奏できるよう練習する。 ・なめらか・はずむ感じ、曲の山などについて話し合い、曲想にあった演奏になるよう工夫し合う。 	ア -	A(1)ア				<p>行動観察 発表 読譜チェック 演奏聴取 学習カード 発言 (パート)</p>
6	<p>旋律の特徴を生かしたリズム伴奏をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律に合う簡単なリズムパターンを考え、学習カードに書く。 ・旋律の感じに合う楽器の組合せを選び、バランスのよい演奏になるよう工夫し合う。 リズム伴奏を加え、全体をまとめる。 ・なめらか・はずむなどの旋律の感じや曲の山全体のバランスなど、工夫できることについて意見を出し合い、演奏の仕方をいろいろ試しながら練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ア - イ - 	A(4)ア				<p>行動観察 演奏聴取 学習カード 発言 (グループ)</p>
7	<p>発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに通して練習する。 ・旋律の感じに合うリズム伴奏や個々の楽器の音色、主旋律と他のパートの音量に気を付け、バランスの取れた合奏に仕上げる。 ・発表を聴き合い、友達の演奏の良さや気付いたことを見つけ合う。 	ウ -	A(3)イ				<p>行動観察 発言 (グループ) 発表聴取 感想発表</p>
	エ -		B(1)イ				